

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
公演団体名	日本センチュリー交響楽団

内容
<p>－小学校公演－</p> <p>コンサートの雰囲気慣れ、音楽や楽器に興味を持ってもらうことを目標としています。コンサートの楽しみ方について、拍手やブラボーといった聴衆の表現方法を体験しながら、コンサートが双方向のコミュニケーションによって成り立つことを伝えます。そして、オーケストラの歴史や楽器の種類としくみ、音楽の要素について演奏を交えながら説明をしていきます。また、ボイスアンサンブルや、本公演で共演する歌唱の練習も行い、子ども達自らが参加することによって、音楽を作り、コンサートを共に作るということを体感します。歌唱で共演する曲については、担当の先生と打合せをし、指導状況、レベルを確認した上で、子どもたちに課題を提示します。少しの工夫で音楽の表現が豊かになること、音楽を作る楽しさを体験することで、音楽表現についての興味関心を高めます。また、子どもたちとの相互コミュニケーションを図り、奏者やオーケストラを身近なものと感じてもらうことで、本公演への期待感を、更には、ワークショップ全体を通じてコンサートに積極的に参加する意識を高めます。</p> <p>－中学校公演－</p> <ul style="list-style-type: none">・吹奏楽部との共演がある学校 <p>共演曲の技術指導を行います。木管楽器、金管楽器、打楽器のグループに分かれて、各奏者のレベルに合わせた技術指導を行った後、合奏練習により、アンサンブル力の向上、楽曲への理解を促します。最後には、講師によるソロコンサートも行います。時間の許す限り、子ども達の疑問点に対応し、顧問の先生とのコミュニケーションも密にして、より良い演奏を共に目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">・吹奏楽部との共演がない学校 <p>小学校公演でのワークショップの内容に加え、西洋音楽の発展が現代ポップス音楽へと続く歴史的な流れという音楽史の要素も含め、音楽に対する知的興味を深められるよう構成します。</p>

タイムスケジュール（標準）
（10時45分開演の場合）
9時00分 学校着
9時15分～10時30分 会場設営～リハーサル、先生との打ち合わせ
10時30分～10時45分 ミーティング、休憩
10時45分～12時15分 ワークショップ（15分の休憩有り）
12時15分～13時00分 片付け、先生との打ち合わせ

派遣者数

演奏者 4 名、スタッフ 2 名：計 6 名

学校における事前指導

小学校：歌唱指導を行いますので、予め共演曲と校歌の練習をしておいてください。

中学校：吹奏楽部との共演曲は、パート練習、合奏練習をしますので、譜読みを終えておいて下さい。吹奏楽部との共演がない場合は小学校公演同様、共演(全校合唱・合唱部)曲の練習をしておいてください。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
公演団体名	日本センチュリー交響楽団

演目
<p>小学校公演</p> <p>【オープニング】ビゼー:歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲</p> <p>【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】各楽器の説明と演奏</p> <p>【オーケストラが奏でるみんなの校歌】各校校歌</p> <p>【オーケストラとの共演①】三村総撤編:手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」</p> <p>— 休憩 —</p> <p>【サプライズファンファーレ】(体育館後方より、金管・打楽器による演奏)</p> <p>すぎやまこういち:ドラゴンクエスト序曲</p> <p>【指揮を体験してみよう】(各校代表者2名程度)</p> <p>オッフェンバック:歌劇『天国と地獄』より序曲(抜粋)</p> <p>【オーケストラで感じる大阪の色】徳山 美奈子:大阪素描 より 祭</p> <p>【オーケストラとの共演②】(以下より1曲を選択)</p> <p>杉本竜一:ビリーブ、村井邦彦:翼をください、平吉毅州:気球に乗ってどこまでも</p> <p>菅野よう子:花は咲く、米津玄師:パプリカ、F.W.メラー:ゆかいに歩けば</p> <p>【大迫力のオーケストラ】チャイコフスキー:バレエ組曲『くるみ割り人形』より 花のワルツ</p> <p>【アンコール】久石譲:「となりのトトロ」～さんぽ</p> <p>中学校公演</p> <p>【オープニング】ビゼー:歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲</p> <p>【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】各楽器の説明と演奏</p> <p>アンダーソン:プリンク・ブレンク・ブランク</p> <p>アルフォード:ボギー大佐</p> <p>【オーケストラの響きの発展】</p> <p>ヘンデル:水上の音楽より アラ・ホーンパイプ</p> <p>オッフェンバック:歌劇『天国と地獄』より序曲</p> <p>— 休憩 —</p> <p>【オーケストラとの共演】(以下より1曲を選択)</p> <p>ホルスト:吹奏楽のための第一組曲より行進曲 (吹奏楽部)</p> <p>村井邦彦:翼をください (全校合唱)、八木澤教司:あすという日が (全校合唱)</p> <p>【指揮を体験してみよう】(各校代表者2名程度)</p> <p>ブラームス:ハンガリー舞曲第5番(抜粋)</p> <p>【オーケストラで感じる大阪の色】徳山 美奈子:大阪素描 より 祭</p> <p>【大迫力のオーケストラ】スメタナ:連作交響詩『我が祖国』より モルダウ(ブルタヴァ)</p> <p>【アンコール】各校校歌</p>

派遣者数

指揮者：1名、オーケストラ：58名(コンサートマスター1名を含む)、
オーケストラ同行マネージャー：2名、
ステージスタッフ：4名(ステージマネージャー1名を含む)
計 65名

タイムスケジュール(標準)

(13時30分開演の場合)

9時00分 楽器搬入～会場設営
12時00分 指揮者、オーケストラ楽団員会場入～公演準備
13時30分～15時00分 公演
15時30分 オーケストラ楽団員会場出
15時00分～16時00分 楽器搬出、会場片付け
16時15分 完全退校

実施校への協力依頼人員

楽器搬出入時に3名ほど補助をお願いする場合があります。(搬出入環境による)

演目解説

子ども達とオーケストラとの一期一会の特別なコンサート、初めてオーケストラを聴く子ども達が、集中力を切らさず、オーケストラの魅力を存分に味わうことができる曲目構成としました。また、子ども達の成長過程に合わせた公演内容とするため、小学校と中学校では異なるプログラムを用意し、それぞれより深く、オーケストラや音楽に親しめるように、そして、ワークショップとの繋がりがより濃くなるように構成しております。それぞれの作品は、聴きやすい旋律を持ちながらも、異なる性格を持ち、その対比を感じ取ることによって、音楽に対する感性を働かせ、音楽の多様性を感じられるものを選択しています。

また、子ども達がオーケストラと共に音楽を作る作品も盛り込み、自発的な活動を引き出し、双方向のコミュニケーションを取れることを目指します。また、鑑賞・参加することによって、日本だけでなく世界の音楽と文化との関わりを感じ取りやすい作品や、人々に長く親しまれている作品に自然とふれることができる、そして全身で音楽の魅力を体感できる曲目構成としました。

【オープニング】

ビゼー:歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲

コンサートの幕開けは華やかなオペラの前奏曲です。スペインを舞台にしたオペラですが、競技場に集まった大観衆の中から闘牛士の歌が聴こえてくる様子が音で描写されています。

【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】

各楽器の説明と演奏

(小学校)オーケストラを構成する楽器それぞれの音をしっかりと見て聴いていただきます。

(中学校)各楽器の説明の後に、それぞれの楽器の特徴のわかる作品をお聴きいただきます。
アンダーソン:プリंक・プレंक・プランク(弦楽器)、アルフォード:ボギー大佐(管・打楽器)

【オーケストラが奏でるみんなの校歌】

各校校歌

小学校公演では、オーケストラの自己紹介の後に、コンサートを一緒に作り上げるみなさんを紹介する曲として演奏し、会場全体の一体感を作り上げます。

※中学校公演ではアンコールとして演奏します。

【オーケストラの響きの発展】（中学校公演）

ヘンデル: 水上の音楽より アラ・ホーンパイプ

オッフエンバック: 歌劇『天国と地獄』より序曲

オーケストラの始まりとなる時代の作品を聴いた後、その作品との対比が如実である作品を聴くことによって、およそ 200 年の歳月を経て発展していったオーケストラの響きを感じていただきます。オッフエンバックの作品は、各楽器の音色やオーケストラの中で担う役割をハッキリと感ずることができ、よく知っているフレーズ(カンカンの部分)だけではなく、作品全体を鑑賞することで、作品の構成や変化を知ることの重要性にも気づいていただきたいという思いを込めています。

【オーケストラとの共演①】（小学校公演）

三村総撤編: 手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」

様々なリズムを手拍子で音楽に参加します。ラデツキー行進曲、ソーラン節、ABC、マンボ No.5、Concierto de Aranjuez、おもちゃのチャチャチャ、風になりたい、といった楽しい小品と共に、だんだん難易度が上がるリズムパターンに挑戦します。

【ファンファーレ】(体育館後方より、金管・打楽器による演奏)

すぎやまこういち: ドラゴンクエスト より 序曲

体育館の前で演奏しているだけではありません。児童生徒のみなさんにはビックリ！サプライズ。オーケストラをより身近に感じていただきます。

【オーケストラとの共演②】（小学校公演、以下より1曲選択）

杉本竜一: ビリーブ、村井邦彦: 翼をください、平吉毅州: 気球に乗ってどこまでも

菅野よう子: 花は咲く、米津玄師: パプリカ、F.W.メラー: ゆかいに歩けば

【オーケストラとの共演】（中学校公演、以下より1曲選択）

ホルスト: 吹奏楽のための第一組曲より 行進曲（吹奏楽部）

村井邦彦: 翼をください（全校合唱）、八木澤教司: あすという日が（全校合唱）

【オーケストラで感じる大阪の色】

徳山美奈子: 大阪素描より 祭

日本センチュリー交響楽団(当時大阪センチュリー交響楽団)が 1997 年に委嘱し初演した作品。大阪の祭りの伝統を色濃く映した作品で、何う学校、地域との文化交流を図ります。

【大迫力のオーケストラ】

チャイコフスキー: バレエ組曲『くるみ割り人形』より 花のワルツ（小学校公演）

華やかなオーケストラの日々を堪能できる作品。小学校公演のプログラムの最後を飾ります。

スメタナ:連作交響詩『我が祖国』より モルダウ(ブルタヴァ) (中学校公演)

オーケストラの壮大な響きをお聴きいただきます。スメタナの祖国に対する強い愛を反映した交響詩から音楽の教科書にも取り上げられている、ブルタヴァ(モルダウ)を取り上げます。オーケストラが描く河の流れや周囲の風景など様々な情景を想像しながらお聴きいただきます。オーケストラの表現の幅広さを存分に感じ取れる作品です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

指揮者体験コーナー (小中学校プログラム共通)

学校代表の児童生徒にオーケストラの指揮を体験してもらいます。

手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」 (小学校プログラム)

当団オリジナルで編曲した、手拍子協奏曲「クリップ・ビート・クラップ! 2」では行進曲から始まり、日本の民謡(ソーラン節)、ラテン音楽やフラメンコのリズムなど様々なリズムパターンを体験し、手拍子でオーケストラと共演します。

オーケストラの伴奏で歌おう (小中学校プログラム共通)

オーケストラ伴奏で歌い共演するコーナーでは、選択曲の幅を広げ、各校に適した教材を実施校に選択いただきます。小規模校にも、音楽に力を入れている学校にも柔軟に対応します。

吹奏楽部との共演 (中学校プログラム)

中学校公演で学校の希望がある場合は、吹奏楽部とオーケストラとの共演のコーナーを設けます。吹奏楽とオーケストラ、共通したクラシック作曲家である、ホルストの吹奏楽の名曲、吹奏楽のための第1組曲より 行進曲 を共演します。

サプライズファンファーレの演奏 (小学校プログラム)

広い体育館での鑑賞で会場の後ろで鑑賞している児童にもコンサートに積極的に参加する意識を高めていただくために、後半の開始前に体育館後方からサプライズでファンファーレを演奏し、金管楽器と打楽器の迫力ある演奏を間近で感じていただきます。

校歌のプレゼント (小中学校プログラム共通)

校歌をオーケストラ伴奏版に編曲し、小学校公演ではプログラム本編中に、中学校公演ではアンコールに会場全員で演奏します。公演の記念として、後日オーケストラ伴奏の演奏を CD に録音し、楽譜と併せて学校に贈呈いたします。

児童生徒とのふれあい

【ワークショップ】

クイズコーナーや質問コーナーを設け、子供達の声を聞きながら進めていきます。ボイスアンサンブルでは、メンバーから説明を受けながら大勢で演奏を作る面白さを体験していただきます。

【本公演】

手拍子協奏曲“クリップ・ビート・クラップ!”と一緒に演奏します(小学校プログラム)。手拍子で

オーケストラと共演するだけでなく、歌ったり、ナビゲーターに「突っ込み」を入れたりして、子供たちとの時間を共有します。

また、コンサートの休憩中は、楽団員も体育館にいます。興味を持った楽器やオーケストラについてお話をし、オーケストラを身近なものとして感じていただきます。

【吹奏楽部との共演】

吹奏楽で共演する生徒さんとは、ワークショップ、本公演を問わずコミュニケーションを深め、音楽や楽器にさらに興味を持ってもらえるようにいたします。

